

さざなみ : **滋賀医科大学附属図書館報** No.22
(1985.5)

発行年	1985-05
URL	http://hdl.handle.net/10422/1133

ちどなみ



No.22

目 次

1985 年 5 月

《巻 頭 言》

寂室禅師の詩偈について……………友吉 唯夫…… 2

《図書館案内》

卒業生からの図書館利用案内……………渡辺 佳夫…… 3

県立図書館紹介……………(俊)…… 4

◇連 載◇

地域の医療を考える 12

薬学の総合的視野の展開を求める一薬剤師会の活動……………澗田 富雄…… 6

古医書へのご招待

漢蘭折衷の解剖学書……………松本 治朗…… 7

《ことば・ア・ラ・カルト》

Melancholic ……………(久)…… 5

《お知らせ》

オンライン検索 JOIS ファイル接続料金の改定について…………… 9

図書館の活動…………… 10

本 学 関 係 者 寄 贈 図 書

越智 淳三(解剖学教授)

診断解剖 H. Loeweneck 著 越智 淳三訳(文光堂 1985)

ありがとうございました。

☆ 「教室めぐり」は、開学十周年記念誌補冊に各教室等の活動が紹介されましたので連載を取りやめます。

卒業生からの図書館利用案内

— 渡 辺 佳 夫 —

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。大学生となった実感はいかがですか。大学はゴールデン・レジャーグラウンドなどと批判されたりしますが、医学部の場合、医師国家試験が難しくなったためか、最近の医学生はよく勉強するようになったようです。

これから6年間、皆様は頻繁に図書館を利用されると思います。そこで、今年の卒業生の立場から、少し具体的に、図書館の利用について御案内させていただきます。

(1) 本図書館の特色の一つに、ビデオテープをはじめ、視聴覚資料の充実があげられます。1階のカウンターにおかれている目録によって必要な資料を探し出し、申し込めば、即、2階の個室AV室で見ることができます。ビデオテープの内容は胸部X線やCTの読影の仕方等の臨床検査、基礎医学、さらに一般教養、スポーツまでさまざまです。たしか、ローズウォールによるテニスのレッスンもありました。

(2) 閲覧室では、静かにしているのが原則ですが、2階には、ディスカッションできる部屋があり、グループ学習におすすめします。しかし、防音設備があるわけではないので、あまり大きな声は出さないようにしましょう。

(3) 近くの県立図書館にはかないませんが、文学書も、充実しています。5月病にかかりそうになったら、気晴らしにいかがでしょうか。「むかし男ありけり…」などと、古典を味わうのも一興でしょう。

(4) 医学雑誌は、1回生にはまだ専門的すぎるかもしれませんが、中には『日本医事新報』

や『医学の歩み』など、やさしく読めるものもあります。新しい医学界の傾向に親しめてよいでしょう。雑誌にもいろいろあり、余談になりますが、中には良縁コーナーを設けて、結婚相手を募集したりしています。あなたの未来を決定するかもしれません。

(5) 図書館のすぐわきが、日本庭園になっていて、図書館で学ぶ者にとって、心安らぐ光景です。5月の日曜日、この庭園でデートなど、いかがでしょうか。

(6) 開館時間は月～金曜日は夜8時まで、土曜日は、夕方5時までです。

(7) 貸出カードは未製本雑誌用と、単行本及び製本雑誌用の2種類、計7枚あり、図書館カウンターで、学生証を提示し、利用登録すれば、即与えられます。返却がおくれると、カードにパンチで穴があけられ、四つ穴のあいたカードは無効となります。

返却期限を守らない学生には、共通の性格があるような気がします。再試験、追試験をよくうける学生の貸出カードを一度見てみたい気持ちです。

医学部の6年間は、長く、そして内容も濃厚です。とくに、5,6回生では、定期試験、病院実習、卒業試験、国家試験の準備におわれて、とても自分の時間がもちにくくなります。

コンピューター、スポーツ、外国語……等々で、何か形ある成果を生みたいと願っておられるなら、一つにしぼり、4年間という期限内、計画をつくられたらよろしいのではと思います。

皆様の実り多い大学生活を念願しつつ。

(昭和59年度本学卒業生)

県立図書館紹介

新入生のための大学図書館の利用については、4月のオリエンテーションで紹介したとおりなので、今回は、大学図書館とともに大学生の読書生活にとって欠かせない県立図書館について簡単に紹介してみたいと思います。

大学と道路をはさんで向かい合う県立東大津高校を右手に見つ、埋蔵文化財センター前を通りすぎると県立図書館の偉容が目飛びこんできます。徒歩でも大学から5分と少々の距離です。

県立図書館の創設は昭和18年にさかのぼりますが、現在の図書館がこの地にオープンしたのは、昭和55年7月とのことです。

2階建、延6,726㎡、蔵書は約30万冊（昭和58年度末現在）。

すでに県立図書館を訪ねて登録まで済ませた新入生もいるかも知れません。しかし多くの新入生諸君は、あわただしい日々がすぎて下宿生活もどうやら身につき、周囲をみわたすゆとりも生まれてきたというところではないでしょうか。明日にでも、暇をみつけて散策がてら花みづきやつつじの花を愛でつつ、県立図書館に出かけてみましょう。細かいことですが、県立図書館に近づくと、道に敷かれたタイルに黄色でしかも表面に突起のあるものが含まれているのが分かります。これは、目の不自由な人が足先で探りながら、県立図書館の玄関までたどりやすいように敷かれているのです。

玄関を入り、右手の階段を上ると、そこが開架図書室になっており、閲覧や貸出しのサービスが受けられます。窓際に配置された座席を使

って図書を閲覧するだけなら特別の手続は必要ありませんが、せっかく図書館を訪ねたのなら、忘れず登録を済ませて、貸出券の交付を受けておきたいものです。

登録の手続は簡単で、身分を証明するもの（学生証など）を示し、所定の書類に必要事項を記入すれば、直ちに貸出券が発行されます。4月からコンピューターが導入されて、この貸出券には個人のコードが入り、機械が読みとれるようになっています。この貸出券で一度に5冊、3週間の貸出しが受けられます。貸出券は紛失しない限り、ずっと使えます。

先日、新入生から、京都から通っているのだけど県立図書館の貸出しが受けられるのかという質問を受けました。早速問い合せてみましたら、県内の大学に在籍する学生や勤め先が県内にいる人は、貸出券の交付が受けられるそうです。

次に、県立図書館の機能のあらましについて知っておいて欲しいことを簡単に記してみます。

まず県立図書館は何より住民のための施設ですから、地域住民のためのサービスを最大の眼目としています。近くに大学があるからと言って、大学生を主たるサービス対象としているわけではありません。一部の地域で問題化したことがあるように、公共図書館が受験生や大学生に占拠されて、一般市民の利用に支障が生ずるようなことは、のぞましいことではありません。公共図書館は大学生の学習施設ではないからです。大学図書館が、基本的な大学生のための図書館サービスを十分に果たし、その上で、県立図書館や他の公共図書館を利用するというのが、

特長のある資料の一部を紹介すると、例えば、
滋賀県に関する「郷土資料」、「古文書資料」、「行

図書館に親しみつつ、充実した大学生活を送られることを願っております。

(久)

4月という月は初々しくもあり、片や「ゆううつ」な月でもある。

- 5 -

薬学の総合的視野の展開を求める 薬剤師会の活動

澗 田 富 雄

1. 医療のなかの医薬品の役割

ジキタリスの薬効が発見されなかったら、心臓病の患者の治療は困難であつたろうし、抗生物質の発見によって、外科手術時における感染の危険率が激減したため、ゆるやかな手術が可能となり、長時間手術創を開放しておけるため、心臓外科や脳外科に長足の進歩をもたらした。現代医学にとって医薬品の貢献するところは極めて大である。

しかし、医学と医療の進歩は高度の技術を生みだし、それは職能の細分化をうながして、現実の医療体系のなかで、特に病院にあっては医師と看護婦を医療の中核として、直接患者の苦痛を和らげ、また慰めることに従事するライン部門とし、その他の専門部門をスタッフ部門として区別される様になった。

スタッフ部門のなかで、薬剤師は医師の処方箋によって薬を調剤するにせよ、或は薬局の店頭で薬を販売するにせよ、すべて薬剤という物を介して患者に対応する点が他の医療技術者と異なる点である。

2. 薬剤師の役割

医薬品は単なるモノであるか否かという議論がよく行われるが、我々薬剤師にとっては医薬品は人の生命に関与し、また有効性・安全性が確立されていなければならないとする薬事法上の定義によって、医薬品を単純にモノであると

は認識していない。

昔からよく言われる様に、薬は両刃の剣であり、用法を誤れば有効であるべき薬がたちまち毒物と化してしまうものである。それ故、我々は薬を取り扱う専門職として、正しい薬の適用と共に、薬の背後にある危険なものを常にきびしく監視する責任を負わされている。

薬の持つ有効な能力を最大限に発揮させると共に、薬の持つ危険性を未然に防止することが、医療における薬剤師に課せられた役割である。

3. 薬剤師会の役割

各都道府県には医療関係団体として、医師会、歯科医師会、薬剤師会があり、これらは三師会なる名のもとに、緊密な連携をたもち地域医療の充実に努力しているのであるが、本県薬剤師会は旧弊を脱皮すべく昨年1月、総経費約3億円を費して、草津市南笠町に新しく会館を建設竣工させた。

新しい会館は“滋賀県薬学総合センター”と称し、新しい建物のもと、新しい意欲をもって、多岐にわたる薬に関する各部門の総合的な研鑽の場として、その機能を発揮するために始動をはじめた。

医療における機能分化の一環として、県内における医薬分業の推進は、医師会、歯科医師会の理解ある協力のもとに円滑に前進しつつあり、細やかな薬の服薬指導、或は薬歴の作製などを

通じて、県民の健康保持に役立っており、本年度からの新しい活動として、県当局より補助金の交付をうけて「医薬品副作用情報活動」を実施することとなった。

その目的は医療関連者に対し医薬品の最新情報、副作用情報等を迅速に提供し、県民の保健衛生の向上に寄与するところにある。

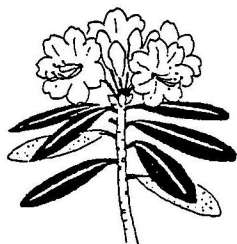
この場合情報源としては、厚生省の医薬品情報、副作用情報、日本医薬品情報センター（JAPIC）の副作用報告、日本薬剤師会の新医薬品情報などにより、出来るだけ権威ある正確な情報の流れをつくりたいと思っている。

更に、県下でも有数の試験設備をもつ試験センターを併設し、生活環境物質の試験検査を積極的に行い、また化粧品、食品添加物、医薬品等の検査も実施して、名実共に医薬品並びに関連物質について広い視野のもとに、多角的な方向から信頼される学術団体でありたいと願っている。

複雑多岐にわたる現在の医療専門分野においては各医療部門の協力があって始めて実のある業績が生れるものである。

江湖の御支援を得て、地域医療の一デポとして飛躍的な活動性をもつ薬剤師会でありたいと願っている。

（滋賀県薬剤師会常務理事）



古医書へのご招待

—漢蘭折衷の解剖学書—

松本 治朗

解体発蒙 三谷公器著 文化10年刊全5冊

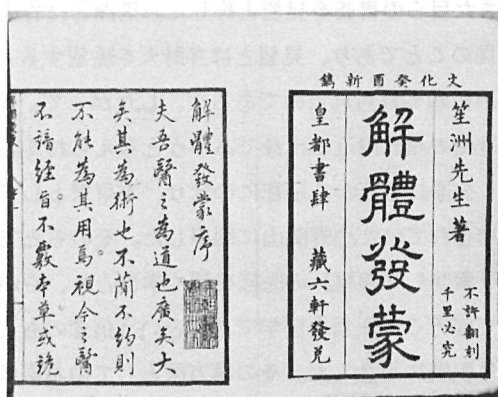
今回紹介する『解体発蒙』は三谷公器が著わした解剖学書である。本書は文化10年（1813年）11月に京都で刊行された。三谷公器は近江の出身であるが、その生涯については不明な部分も多い。公器は名を樸といい、笙洲と号し、また自らの書齋を見龍と称した。笙洲とは竹生島のことであり、見龍とは弁財天を眺望するために名づけられたのであろう。したがって、琵琶湖の湖北附近の出身であろうと考えられる。

公器は近江から京都にのぼり、本草家として知られていた小野蘭山に師事した。そのもとで『素問』『靈枢』の医経を深く学びとり、やがて漢方こそ正当な医学であるという信念のもとに医業に専念した。その漢方医としての名声は京都においては高いものであったという。

ところが、公器が漢方医として活躍していたその当時は、時あたかも山脇東洋の観臓が舉行され西洋の解剖学書の正当性が実証されはじめたときである。東洋に引き続き、山脇東門、伊良子光顕、小石元俊などが次々と解屍を舉行していった。このような情勢下において漢方医である公器も、自らは蘭語を読めないものの刊行された『解体新書』『医範提綱』などの翻訳書を読み西洋医学の正当性を認識するようになったのである。すなわち、公器は伝統的な漢方医学のみならず、西洋医学にも精通した医師であったといえよう。

このように東西両医学に精通した公器が解屍に立会う機会があった。これは荻野元凱の門人

が公評を得て、享和2年（1802年）に行なった解屍である。このときの記録をもとにして刊行した書物が『解体発蒙』である。本書のなかで公器は、西洋医学と素問・靈枢とを比較対照し、両者の融和をはかろうとしている。なかでも興味のひかれることは、「西洋の解剖学は内経のなかですでに述べられているが、後世の人々が誤ったために漢方医学が解剖学から離反した。」と述べているところである。公器はひとつひとつの内臓器管についてまずその名称をかかげ、次にその位置・形態・大きさなどを述べ、最後に自分自身の意見を述べている。



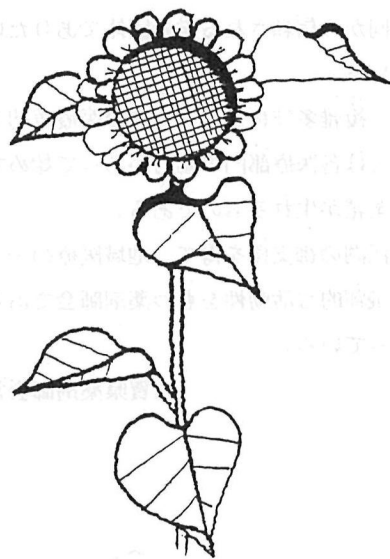
その際、自分の意見は蘭学をもとにしたものであるが、必ず素問・靈枢をも参照にし、その所説とするところは漢蘭両問の橋梁をなすものであるといえよう。例えば胆嚢については「和名を『キモ、ニガブクロ』、蘭名を『ガルブラス』という」と述べ、次に「肝の後面にいだかれ胆汁を小腸に出している」と自分が解屍で見聞したことを述べている。さらに「胆汁は内経にも既に記述があるが、胆汁に飲食物の消化作用があるということは和漢古今の書にはその記載がない。これはオランダ人の発見したことである。しかし、内経をよく精読すれば胆汁の消化作用についての記述もある。したがって必ずしも西洋医学がはじめてではない」という具合

である。

本書の刊行以来、170年以上の年月が経過しているが、その解剖図は時をこえて非常に美しい色彩をもっている。どの図をみても素晴らしい木版画であり、その印刷技術にはおどろくばかりである。

三谷公器は文政6年（1823年）49才にて没したが、わが国の解剖学史上「解体発蒙」は極めて大きな位置を占めている。

（産科学婦人科学教室・助手）



お知らせ

オンライン検索J O I S のファイル接続料金が4月1日から改定されました。(別表参照)

例えば、MEDLINE は、1分間のファイル接続料金が210円から200円に下がって、新たにオンライン回答出力料金が1件につき10円課金されることになりました。

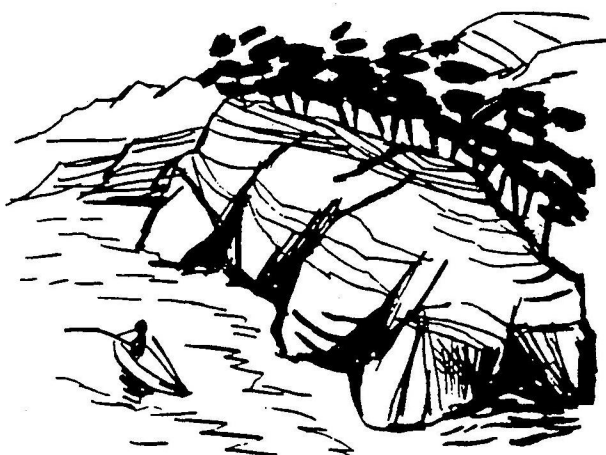
CASEARCHもファイル接続料金が315円から332円に、回答出力料金が33円から51円に、オフライン回答出力料金が10円上がって1件68円にそれぞれ変更されました。また国内医学文献のJMEDICINE も1分間のファイル 接続料金が200円に下がって、オンライン回答出力料金が1件につき10円ついています。

この改定によって、MEDLINE を3分間使って5件出力した場合、従来630円だったファイルの使用料金は、ファイル接続料金600円に回答出力料金50円が加算された650円となります。

料金 データ ベース名	ファイル接続料金		** オンライ ン 回答出力料金 (ヒットチャージ)	オフライン料金		
	公衆回線	特定回線		手配料金	回答出力料金	
					Aタイプ (抄録付)	Fタイプ (抄録無し)
JICST	200円/分	270円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
JCLEARING	200円/分	270円/分	10円/件	500円/回	23円/件	17円/件
JTERM	200円/分	270円/分	—	—	—	—
JCATALOG	200円/分	270円/分	—	—	—	—
JMEDICINE	200円/分	270円/分	10円/件	500円/回	29円/件	17円/件
JPUBLIC	200円/分	270円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
NK-MEDIA	240円/分	310円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
MEDLINE	200円/分	270円/分	10円/件	500円/回	30円/件	20円/件
TOXLINE	395円/分	465円/分	23円/件	500円/回	55円/件	37円/件
CANCERLIT	228円/分	298円/分	10円/件	500円/回	43円/件	25円/件
MESH	200円/分	270円/分	—	—	—	—
CASEARCH	332円/分	402円/分	51円/件	500円/回	—	68円/件
CASNAME	332円/分	402円/分	—	—	—	—
BIOSIS	340円/分	410円/分	30円/件	500円/回	—	46円/件
CAB	252円/分	322円/分	70円/件	500円/回	95円/件	76円/件
NTIS	272円/分	342円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
INSPEC	384円/分	454円/分	58円/件	500円/回	95円/件	77円/件
FSTA	300円/分	370円/分	26円/件	500円/回	51円/件	33円/件
EMBASE*-I	350円/分	420円/分	21円/件	500円/回	51円/件	40円/件
EMBASE*	350円/分	420円/分	21円/件	500円/回	51円/件	40円/件
MALIMET*	350円/分	420円/分	—	—	—	—
COAL	200円/分	270円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
INIS	200円/分	270円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
IRRD	200円/分	270円/分	10円/件	500円/回	35円/件	17円/件
研修ファイル	50円/分	50円/分	—	—	—	—

図書館の活動 (60.2.1~4.30)

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|
| 2/7 第35回近畿地区医学図書館協議会例会
(大阪医科大) | 4/19 近畿地区国立大学図書館協議会 (京大) |
| 3/1 近畿北部地区国立大学図書館機械化ネットワーク開発委員会 (京大) | 4/23 学術雑誌発行のための準備委員会 |
| 3/19 学術雑誌発行のための準備委員会 | 4/23 第36回近畿地区医学図書館協議会例会
(阪大) |
| 4/12 新入生図書館利用に関するオリエンテーション | |



滋賀医科大学附属図書館報『さざなみ』

No22

1985年5月発行

編集委員 谷垣 勲・篠原俊夫・渡辺幸子

発行 滋賀医科大学附属図書館 ㊟520-21 大津市瀬田月輪町

TEL 0775-48-2080

Telex SGMLIBJ 5464-911